

First Trust Senior Loan Fund
ファーストトラスト シニアローン ファンド

交付運用報告書

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンドIV (First Trust Exchange-Traded Fund IV)
----------	---

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載

した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第59条において準用する同法第14条第4項及び第6項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及びその代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジ・トレーデッド・ファンド IV（以下「本トラスト」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト シニアローン ファンド。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及びその代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかかもしれません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提示するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト シニアローン ファンド（以下「本ファンド」といいます。）の主な投資目的は、高い経常的な収益を提供することです。本ファンドの2番目の投資目的は、資本を保全することです。本ファンドは、通常の市場環境下では純資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも80%を優先担保付シニア変動金利銀行ローン（以下「シニアローン」といいます。）に投資します。

シニアローンは、1つ以上の銀行又は同様の金融機関が1つ以上の会社、パートナーシップ又はその他の事業体に対して行う資金の貸付け又は貸付予約であり、通常は、ロンドン銀行間取引金利（以下「LIBOR」といいます。）、担保付翌日物調達金利（以下「SOFR」といいます。）と同様の参照金利又は1つ以上の米国の主要銀行が提供するプライムレート等の基準貸出金利に所定のプレミアムを上乗せしたものととして定期的に決定される変動金利で利息を支払います。

本ファンドは、投資時点で投資適格未満のシニアローンに主に投資します。一般に「ジャンク」証券又は「ハイイールド」証券と呼ばれる投資適格未満の格付けの有価証券には、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、フィッチ・インク又はS&Pグローバル・レーティングからそれぞれBa1/BB+/BB+以下の格付けを取得した有価証券が含まれます。本ファンドは、主に北米で事業を営む企業向けのシニアローンに投資しますが、北米以外で事業を営む企業向けのシニアローンにも投資する場合があります。本ファンドのポートフォリオに含まれるシニアローンのデュレーションは90日未満であることが多いですが、一部のシニアローンにLIBOR又はSOFRの下限が含まれること、あるいはその他の要因により金利デュレーションが90日を超えることがあります。本ファンドは、(1)シニアローン以外の負債証券（固定金利又は変動金利の収益性のある有価証券（米国政府の債務証券及び社債券（転換社債を含む場合があります。））を含みますが、これらに限定されません。）である場合があります。）、(2)借り手又はその関連会社が発行した、あるいは借り手又はその関連会社に関して発行されたワラント、米国及び米国以外の株式並びに株式に類似したポジション及び持分その他の有価証券、並びに又は(3)その他の投資会社の有価証券に純資産の20%まで投資することもできます。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン			累積トータルリターン			
	2023年10月31日に終了した1年間	2023年10月31日に終了した5年間	2023年10月31日に終了した10年間	設立(2013年5月1日)から2023年10月31日までの期間	2023年10月31日に終了した5年間	2023年10月31日に終了した10年間	設立(2013年5月1日)から2023年10月31日までの期間
本ファンドのパフォーマンス							
NAV ⁽¹⁾	9.32%	3.67%	3.39%	3.32%	19.77%	39.57%	40.85%
市場価格	9.50%	3.66%	3.37%	3.32%	19.67%	39.28%	40.90%
インデックスのパフォーマンス							
Morningstar [®] LSTA [®] US Leveraged Loan Index	11.92%	4.46%	4.22%	4.16%	24.41%	51.17%	53.44%

(1) 2023年1月3日、本ファンドが保有するシニアローン投資の評価に用いられる公正価値評価方法が変更されました。同日前は、プライシングサービスから提供されるビッドサイドの価格を用いてシニアローンが評価されていました。同日後は、プライシングサービスから提供されるビッド価格とアスク価格の仲値を用いてシニアローンが評価されています。2023年1月3日に行われた本ファンドの公正価値評価方法の変更により、同日に本ファンドの純資産価額が一時的にシェア1口当たり約0.159ドル増加しましたが、これは本ファンドのパフォーマンスに0.35%のプラスの影響を与えたこととなります。プライシング方法の変更がなければ、NAVベースでの本ファンドのパフォーマンスは、2023年10月31日に終了した1年間、5年間平均年間、10年間平均年間、設立来平均年間、5年間累積、10年間累積、設立来累積がそれぞれ8.93%、3.61%、3.36%、3.28%、19.38%、39.11%及び40.39%でした。

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア1口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア1口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドのNAVが計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBOは、本ファンドのNAVが計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から

構成されます。2019年1月1日以前は、使用されていた価格は、本ファンドのNAVが計算される時点での本ファンドのシェアが取引されている証券取引所における最も高いビッドと最も低いオファーの仲値でした。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドのNAVを流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV及び市場リターンには、すべての分配金がNAVと市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

産業別アロケーション	シニアローン 及びその他の 有価証券に占 める割合 ⁽¹⁾
ソフトウェア	21.1%
保険	15.2
ヘルスケア・テクノロジー	11.8
メディア	10.2
ホテル、飲食店&レジャー	6.3
コンテナ&梱包	5.0
ヘルスケア・プロバイダー&サービス	4.6
商業サービス&サプライ	3.3
プロフェッショナル・サービス	2.9
医薬品	2.3
ワイヤレス通信サービス	2.2
総合通信サービス	2.1
ヘルスケア機器&サプライ	1.9
キャピタル・マーケット	1.8
商社&流通業者	1.6
機械	1.1
電気公益事業	1.0
IT サービス	0.9
航空宇宙&防衛	0.7
総合消費者サービス	0.7
電子装置、機器&部品	0.6
総合金融サービス	0.5
食料品	0.4
食品&日用品小売業	0.4
ライフ・サイエンス・ツール&サービス	0.3
建設&エンジニアリング	0.2
建築用品	0.2
飲料	0.2
専門小売業	0.2
独立系発電事業者及び再生可能エネルギー事 業者	0.2
自動車部品	0.1
家庭用耐久財	0.0 ⁽²⁾
合計	100.0%

資産区分	シニアローン及び その他の有価証券 に占める割合 ⁽¹⁾
シニア変動金利ローン持分	88.3%
社債及びノート	10.5
外国社債及びノート	1.2
普通株式	0.0 ⁽²⁾
権利	0.0 ⁽²⁾
合計	100.0%

信用力 (S & P の格付け) ⁽³⁾	シニアローン及び その他の有価 証券に占める 割合 ⁽¹⁾
BBB	0.3%
BBB-	13.2
BB+	6.7
BB	1.9
BB-	5.9
B+	20.5
B	30.2
B-	15.8
CCC+	3.8
無格付け	1.7
合計	100.0%

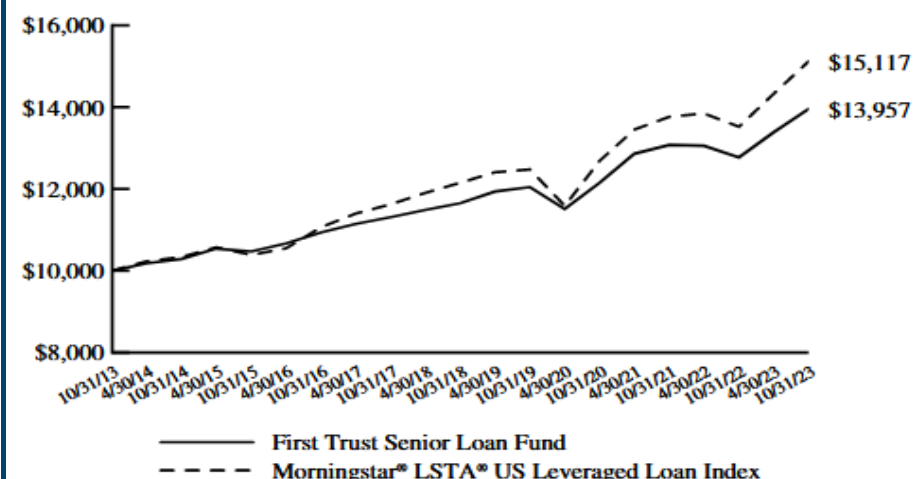
発行体上位 10 社	シニアローン及び その他の有価 証券に占める 割合 ⁽¹⁾
AssuredPartners, Inc.	3.8%
SS&C Technologies Holdings, Inc.	3.6
Verscend Technologies, Inc. (Cotiviti)	3.4
Zelis Payments Buyer, Inc.	3.2
HUB International Ltd.	3.1
Open Text Corp. (GXS)	2.8
Charter Communications Operating LLC	2.8
Cablevision (通称 CSC Holdings LLC)	2.6
Clarivate Analytics PLC (Camelot)	2.1
Alliant Holdings I LLC	2.1
合計	29.5%

(1) 割合は長期ポジションに基づきます。マネー・マーケット・ファンドを除きます。

(2) 金額は 0.1%未満です。

(3) 格付けは S&P グローバル・レーティングによるものです。信用格付けとは、負債証券（民間格付けの負債証券を除きます。）について、発行体の信用力を全米で認知された統計的格付機関（NRSRO）が評価したものです。格付けは、一般に AAA（最高）から D（最低）までの尺度により測定されます。投資適格とは、長期信用格付けが BBB-以上の発行体として定義されます。表示されている信用格付けは、本ファンドの原証券の発行体の信用力に関するものであり、本ファンドやそのシェアに関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。

10,000 ドルの初期投資のパフォーマンス
2013年10月31日-2023年10月31日



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」といいます。）のレバレッジド・ファイナンス・チームは、投資適格未満の有価証券を専門とする経験豊富な投資の専門家 18 名で構成されています。このチームは、ポートフォリオ・マネジメント、リサーチ、トレーディング及びオペレーションの担当者からなります。2023 年 10 月 31 日現在、ファーストトラストのレバレッジド・ファイナンス・チームは約 55 億ドルのシニア有担保銀行ローン及びハイイールド債を管理・監視していました。これらの資産は、個人及び機関投資家である顧客のために 2 本のクローズドエンド型ファンド、1 本のオープンエンド型ファンド及び 5 本の上場投資信託を含む様々な戦略で運用されます。

ポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

ウィリアム・ハウジー、CFA—債券部門マネージング・ディレクター、シニア・ポートフォリオ・マネジャー
ジェフリー・スコット、CFA—シニア・バイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。ハウジー氏は 2013 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員であり、スコット氏は 2000 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。

解説

本ファンドは、アクティブ運用型の上場投資信託（以下「ETF」といいます。）です。本ファンドの主な投資目的は高い経常的な収益を提供することであり、もう一つの目的は元本を保全することです。

市場動向

2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間の初めの時点で、連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）が 2.0%のインフレ目標へのコミットメントを繰り返す中、2022 年 11 月の消費者物価指数は前年同期比 7.1%増とインフレが高止まりしていました。この時点におけるフェデラルファンド金利誘導目標の上限は 3.25%でした。しかしながら、FRB の 2022 年 12 月の連邦公開市場委員会（以下「FOMC」といいます。）の会合までに、同委員会は 5.00~5.25%という想定を上回る最終的なフェデラルファンド金利誘導目標を予想し、インフレが低水準にとどまるという確信が FRB にないことを示唆しました。FOMC は、2023 年 7 月の会合で金利誘導目標を 5.25~5.50%に再び引き上げ、インフレ緩和の試みを続けました。2023 年 9 月の会合では金利誘導目標を据え置き、本年と来年の経済成長見通しを上方修正する一方、2024 年の利下げ予想を引き下げました。これが報告期間の最後数週間におけるイールドの上昇、スプレッド・ボラティリティの増大及び株価下落の契機となりました。

2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間の 10 年物米国財務省証券利回りは、4.05%から 4.93%へと 88 ベーシス・ポイント（以下「bp」といいます。）上昇しました。S&P500® Index は 2023 年第 2 四半期末に 4,500 近辺で取引され、2022 年 10 月の底値を 1,000 ポイント近く上回りましたが、2023 年 10 月 31 日の S&P500® Index は 4,194 で取引を終え、報告期間のリターンは 10.14%となりました。

シニアローン市場

担保付翌日物調達金利（以下「SOFR」といいます。）に対するシニアローンのスプレッドは、2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間に 110bp 低下し、S+544bp となりました。現在のスプレッドは、長期平均スプレッド S+517 bp（1997 年 12 月～2023 年 10 月）を 27 bp 上回っています。シニアローン・ファンドは、2023 年第 3 四半期に 5 億ドルの資金流入を実現しました。第 3 四半期以外は資金流出となり、過去 12 カ月間（以下「LTM」といいます。）の純流出額は合計 273 億ドルとなりました。これに対し、2022 年 10 月 31 日に終了した前 LTM 期間の純流入額は 18 億ドルです。

LTM 期間中、BB 格のシニアローン（9.82%増）は、B 格のシニアローン（13.27%増）及び CCC 格のシニアローン（12.40%増）に対してアンダーパフォームしました。シニアローンの平均価格は、期首時点の 92.19 ドルから期末時点は 94.76 ドルに上昇しました。

デフォルト率

Morningstar® LSTA® US Leveraged Loan Index（以下「ベンチマーク」といいます。）により測定されるデフォルト率は、2023 年 10 月 31 日に終了した LTM 期間中に緩やかに増加しました。シニアローン市場の LTM デフォルト率は、期首時点の 0.83%から期末時点は 1.36%に上昇しましたが、長期平均の 2.70%を下回っています。

本ファンドのパフォーマンス

本ファンドのリターンは、2023年10月31日に終了したLTM期間中は純資産価額（以下「NAV」といいます。）ベースで9.32%、市場価格ベースでは9.50%でした。ベンチマークのリターンは、同期間中は11.92%でした。

本ファンドは、報告期間の終了時点で32業種に分散した191の個別ポジションを保有していました。これに対し、当該期間の開始時点では32業種で210の個別ポジションを保有していました。ソフトウェア（21.12%）、保険（15.19%）及びヘルスケア・テクノロジー（11.80%）が当該期間の終了時点における本ファンドの上位3業種のエクスポージャーを構成していました。本ファンドは、ハイイールド債への配分を期中に10.89%から11.64%へ75bp増加させました。本ファンドのデュレーションは、期首時点の0.61年から期末時点の0.56年へとわずかに低下しました。

2023年10月31日現在、BBB格、BB格、B格及びCCC以下の格付けの資産（無格付けを含みます。）への本ファンドの配分は、それぞれ13.50%、14.60%、66.47%及び5.43%でした。ポートフォリオ全体のボラティリティを下げ、流動性を高めるために、本ファンドは期中にBBB格の資産への配分を増やすと同時に、B格の資産への配分を減らしました。

金融サービス・セクター及びテクノロジー・ハードウェア&機器セクターにおける強固な銘柄選択がパフォーマンスに寄与しました。メディア&エンターテインメント・セクター及び商業&プロフェッショナル・サービス・セクターにおける本ファンドの銘柄選択はパフォーマンスを低下させました。また、LTM期間中にハイイールド債がシニアローンに対してアンダーパフォームしたため、本ファンドのハイイールド債への配分はパフォーマンスにとって逆風となりました。本ファンドのキャッシュ・ポジションもパフォーマンスを低下させましたが、このディフェンシブなポジショニングが長期的には本ファンドに有益であると我々は考えています。

本ファンドの直近の月次分配金はシェア1口当たり0.2950ドルであり、2022年10月に支払われた分配金をシェア1口当たり0.067ドル上回っています。本ファンドの直近12カ月間の分配金に基づく実質利回りは、NAVベースでは期末時点で7.48%でした。

本ファンドは、LTM期間中にデフォルトに見舞われませんでした。これに対し、ベンチマークはデフォルトに21回見舞われました。本ファンドがデフォルトに見舞われたのは設立以来10回であり、ベンチマークは同期間中に173回でした。本ファンドのLTMデフォルト率は0.00%であり、同期間中におけるベンチマークのLTMデフォルト率は1.36%でした。

市場及び本ファンドの見通し

我々のマーケットの見方は、FRBの利上げサイクルが終わりに近づいているという認識が軸となっています。FRBは追加利上げについて市場にリークするかもしれませんが、今の債券市場は収益と金利リスクに関して言えばはるかにバランスが取れていると思われます。高い利回りは今後も債券のプラスのリターンを支え続けます。しかしながら、投資家は景気後退の可能性と時期を見極めようとしているため、市場のボラティリティが続くことが予想されます。したがって、景気連動性が限定的なセクターでディフェンシブなポジショニングを取りつつ信用の質を高めることを我々は志向しています。評価が改善したことでコーポレート・クレジット市場に魅力的な機会が生まれたと我々は認識しており、そうした市場の機会を評価する際は、引き続きボトムアップ型のクレジット・アンダーライティング・プロセスとリスク管理に対する厳格なアプローチを採用します。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するのには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていただいでしょう。

	2023年5月1日 時点の口座 価値	2023年10月31日 時点の口座 価値	6カ月間に基 づく年間費用 比率(a)	6カ月間に支払 われた費用 (a) (b)
ファーストトラスト シニアローン ファンド(FTSL)				
実際	\$1,000.00	\$1,043.30	0.85%	\$4.38
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,020.92	0.85%	\$4.33

(a) 年間費用比率及び6カ月間に支払われた費用には、本ファンドの投資先である各ファンドの手数料及び費用が含まれていません。

(b) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。

貸借対照表

2023年10月31日

資 産:

投資（評価額）	\$2,212,341,462
現金	564,295
受取勘定:	
利息	7,834,152
売却された投資有価証券	6,756,668
売却されたシェア	2,270,535
配当	708,747
資産合計	<u>2,230,475,859</u>

負 債:

支払勘定:	
購入された投資有価証券	46,893,573
投資顧問料	1,583,316
負債合計	<u>48,476,889</u>
純資産	<u>\$2,181,998,970</u>

純資産の内訳:

払込資本	\$2,463,360,879
額面価額	480,500
分配可能利益（損失）累計額	(281,842,409)
純資産	<u>\$2,181,998,970</u>
シェア1口当たり純資産価額	<u>\$45.41</u>
発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	<u>48,050,002</u>
投資（取得額）	<u>\$2,269,278,595</u>

損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

投資利益:

利息.....	\$190,666,629
配当.....	8,449,944
投資利益合計.....	<u>199,116,573</u>

費用:

投資顧問料.....	20,719,672
費用合計.....	<u>20,719,672</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>178,396,901</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

投資に係る正味実現利益（損失）.....	(49,347,269)
未実現増価（減価）の正味変動額の内訳:	
投資.....	87,971,431
未実行のローン・コミットメント.....	742,220
未実現増価（減価）の正味変動額.....	<u>88,713,651</u>
実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>39,366,382</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u>\$217,763,283</u>

純資産変動計算書

	2023年10月31日に 終了した年度	2022年10月31日に 終了した年度
運用:		
正味投資利益（損失）	\$178,396,901	\$138,794,474
正味実現利益（損失）	(49,347,269)	(101,739,244)
未実現増価（減価）の正味変動額	88,713,651	(140,859,702)
運用による純資産の正味増加（減少）額	<u>217,763,283</u>	<u>103,804,472</u>
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(179,439,889)	(139,547,604)
資本の払戻し	(742,468)	—
シェア保有者への分配合計	<u>(180,182,357)</u>	<u>(139,547,604)</u>
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	174,942,586	1,150,159,765
交換済シェア費用	(969,179,172)	(834,804,577)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	<u>(794,236,586)</u>	<u>315,355,188</u>
純資産の増加（減少）額合計	(756,655,660)	72,003,112
純資産:		
期首	2,938,654,630	2,866,651,518
期末	<u>\$2,181,998,970</u>	<u>\$2,938,654,630</u>
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	65,650,002	60,000,002
売却されたシェア数	3,800,000	24,150,000
交換されたシェア数	(21,400,000)	(18,500,000)
期末における発行済シェア数	<u>48,050,002</u>	<u>65,650,002</u>

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	10 月 31 日に終了した年度				
	2023	2022	2021	2020	2019
期首における純資産価額	\$44.76	\$47.78	\$45.85	\$47.15	\$47.75
投資運用による利益:					
正味投資利益 (損失)	3.32 ^(a)	1.89	1.54	1.67	2.13
実現及び未実現の正味利益 (損失)	0.73	(3.01)	1.92	(1.27)	(0.57)
投資運用による合計額	4.05	(1.12)	3.46	0.40	1.56
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益	(3.39)	(1.90)	(1.53)	(1.67)	(2.15)
資本の払戻し	(0.01)	—	—	(0.03)	(0.01)
分配額合計	(3.40)	(1.90)	(1.53)	(1.70)	(2.16)
期末における純資産価額	\$45.41	\$44.76	\$47.78	\$45.85	\$47.15
トータルリターン ^(b)	9.32%	(2.38)%	7.60%	0.90%	3.37%
平均純資産に対する比率/補足データ:					
期末における純資産 (千単位)	\$2,181,999	\$2,938,655	\$2,866,652	\$1,276,964	\$1,603,148
平均純資産に対する費用合計の比率 ^(c)	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率	7.31%	4.07%	3.27%	3.63%	4.50%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(d)	54%	63%	92%	76%	44%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(c) 本ファンドは、本ファンドの投資先である原ファンドが按分負担する手数料及び費用を間接的に負担します。この比率には、これらの間接的な手数料及び費用は含まれていません。

(d) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。